

鈴鹿市自治会連合会と市民を結ぶ情報紙

自治会 すずか

第16号

話し合いで地域を盛り上げる

地域に関する思いを共有し、より住みやすい地域へ



住民同士で助け合い

身近な人との対話を通じてみんなで助け合いを



親睦・交流



地域の困りごとを解決

悩んでいることなどを相談し、支え合う



地域のコミュニティ

地域のイベントを通してコミュニケーションを深める



身近なところで活動する

自治会

に加入しましょう！



美化・清掃活動

ごみ集積所の管理や清掃活動を通してきれいなまちづくりを



防火、防犯、防災対策

防災訓練や防犯活動を通していざというときの助け合いを



地域の情報の共有

市の広報や回覧板を通じて地域情報を知ることができる



暮らし



生活環境の整備

道路の修繕や防犯灯の設置・管理の相談



第1
ブロック

面 積：89ha

自治会数：69

庄野、加佐登、石薬師、

井田川、久間田、椿、

深伊沢、鈴峰、庄内

鈴鹿市自治会連合会
副会長 田中 正一

鈴鹿山脈の麓から茶畠、植木畠の風景が広がっています。交通アクセスに関して、新名神高速道路が開通し、東名阪自動車道、国道1号も通っており、鈴鹿PA周辺には工業団地が造成され、物流施設が集積しています。旧東海道沿いに歴史ある建造物が点在する鈴鹿川より西の大半を占める9つの地区からなる広域ブロックです。

第2
ブロック

面 積：21ha（※推測）

自治会数：37

国府、牧田

鈴鹿市自治会連合会
副会長 内納 洋幸

国府地区…王塚を始めとする古墳群や数々の歴史的、文化的遺跡が多くあり、農業や工業のみならず、回生病院等の立地もある暮らしやすい環境を維持しています。また、近年はまちづくり協議会が主体となり、避難所開設訓練や住民の絆を育むためのフェスティバル等を開催しています。

牧田地区…製造業工場や大規模小売店舗など、商工業施設と住宅地域が混在して発展してきました。近年では、地域づくり協議会が主体となり、防犯・防災をはじめ、福祉活動にも積極的に取り組んでいます。

第4
ブロック

合川地区…豊かな自然と地域コミュニティのつながりが強い地域です。

稻生地区…鈴鹿サーキットのお膝元として知られ、古くからの歴史や文化と、新しい住宅が共存する地域です。

天名地区…中ノ川沿いの自然豊かな田園地帯に、地域コミュニティが根差したのどかな暮らしが特徴です。

栄地区…鈴鹿市の東南端に位置し、伊勢湾に面した海や河川に囲まれた地域です。

活性化推進事業

3ブロック

ごみ処理施設見学から学ぶ

今年度の鈴鹿市自治会連合会第3ブロック行政懇談会で議題にした「家庭ごみの分別の簡素化について」、より一層の知見を得るために、ごみ処理施設の視察研修を実施しました。鈴鹿市と亀山市の分別方法や焼却炉の違いについて学ぶとともに、ごみの分別や減量化の重要性について理解を深めました。

私たち一人ひとりが、日々の暮らしの中で環境に配慮した行動を行い、社会全体でごみ問題に取り組まなければならないと再認識しました。



鈴鹿市自治会連合会は、鈴鹿市を6つのブロックに分け、それぞれの課題の解決に向け、話し合いを行うなどの活動を行っています。今回、各ブロックを紹介します。

第3 ブロック

面 積：17ha
自治会数：53
飯野、河曲、神戸



鈴鹿市自治会連合会
副会長 飯田 時生

第3ブロックに含まれる神戸地区は城下町・宿場町として栄えた要衝の地であり、今も市役所があり鈴鹿市の政治、経済の中心となっています。今年度4月にはNHKのブラタモリで「神戸の見附」「あぶい旅館」「もち久の立石餅」等が放送され、神戸の魅力が改めて発信されました。また、6月には神戸宗社で第63回神宮式年遷宮の御代木(御神木)の歓迎行事が行われ、「よさこい」「獅子舞」「太鼓連」「石取祭」についてもたくさんの方が参加されたように、地域行事も盛んな地区です。
※飯野地区、河曲地区は来年以降の紹介になります。



第6 ブロック

面 積：28ha
自治会数：89
一ノ宮、箕田、玉垣、若松



鈴鹿市自治会連合会
副会長 浦川 雅弘

第6ブロックは、4つの地区から構成され、地域ごとに5つの協議会が設置されているエリアです。各地区には近鉄の駅があり、さらに国道23号線が縦断し、伊勢鉄道の鈴鹿駅も位置していることから、鉄道と道路の両面で交通の利便性に恵まれています。また、伊勢湾に面した地区には漁港があり、豊かな海の資源を活かした水産業が展開されています。都市的な交通網と海の恵みが共存し、生活の利便性と産業の多様性を兼ね備えています。

第5 ブロック

面 積：8ha
自治会数：94
白子



鈴鹿市自治会連合会
副会長 今井 俊郎

白子地区は江島、白子、寺家、旭が丘の4地域で成り立っており近鉄白子駅は鈴鹿市の玄関口となっています。F1グランプリや8時間耐久ロードレースなどモータースポーツの開催時には多くの人が訪れ賑わいます。白子駅東側には旧伊勢街道が通り、この道沿いには旧家が多く立ち並び、伊勢型紙や、鈴鹿墨などの伝統産業が継承されるほか、歴史遺産なども多く残され鈴鹿の文化を伝えています。

5ブロック

「浄化センター・豊田市防災センター」見学

第5ブロックでは今年度、四日市にある南部浄化センターと愛知県豊田市の防災センターを視察しました。南部浄化センターでは下水管が上流から浄化センターまで秒速5mで流れる様に角度がつけられ、センターの深水則蔵所が地下30mになるとのことでした。浄化方法は薬品をつかわず、バイオによる浄化処理と聞き安全に留意しているのだと感心しました。

豊田防災センターにおいては強風体験(秒速30m)やけむり脱出体験をする事ができ、日ごろの防災に対する心構えが大事だとあらためて実感することができました。



行政懇談会

地域で困っている課題について、直接市と話し合います。令和7年9月から10月にかけて、市長をはじめとする行政担当者と、ブロックごとに様々な課題について話し合いを行いました。行政懇談会を契機に、市とともに地域の課題解決に向けて取り組みます。



■ 第1ブロック議題

- インフラの調査・整備状況と今後の展望について
- 自治会保険について
- 太陽光発電施設等が設置された土地にマンボガが発見された場合の市の対応について

■ 第2ブロック議題

- 牧田小学校屋内運動場の建替えについて
- 牧田コミュニティセンターの維持管理について
- 地域づくりに関する行政サイドの支援体制について／鈴鹿市の施策について

■ 第3ブロック議題

- グリーン帯の敷設と用水路にポール設置願い
- 近鉄鈴鹿市駅前ロータリー再開発について
- 家庭ごみの分別の簡素化について

■ 第4ブロック議題

- 合川、天名、郡山 3小学校統合進捗状況と義務教育一貫校に向けて
- 稻生地区の公共下水道全体計画の見直しに伴う対応について
- 中山間地域の耕作放棄地対策について／「自治会要望」に対する取り組みについて

■ 第5ブロック議題

- 個別避難計画作成について
- 放課後児童クラブ「たんぽぽ」の早期移転について
- 津波一時避難設備の建設
- 豪雨土砂災害への対策と今後の改善計画について

■ 第6ブロック議題

- 大規模災害時の避難所運営と地域連携について
- 空地の雑草撤去、不法投棄について
- 自治会に所属しない市民のごみ出し問題及び自治会について



鈴鹿市自治会連合会
会長 水野 克則

ごあいさつ

市民の皆様には、日頃から自治会活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今年度、南海トラフ巨大地震の発生確率が引き上げられました。阪神淡路大震災の際には、約8割の人が地域住民によって助けられたといいます。今一度、自助・共助を見つめ、共助の中心となる自治会がより住民同士のつながりを深め、協力しあえる組織となるよう自治会連合会としても取り組みを進めてまいります。皆様、ご協力をお願いいたします。



自治会の目的は地域的な共同活動を行うことにより、良好な地域社会の維持及び形成に資することです。具体的な例を1面に掲載しました。自治会が住民の皆さんと共に維持発展される事を願っています。



委 員 長	飯田 時生	(第3ブロック)
委 員	川森 浩	(第1ブロック)
	森 英也	(第2ブロック)
	櫻井 保則	(第3ブロック)
	分部 正仁	(第4ブロック)
	橋本 洋司	(第5ブロック)
	荻野 晃	(第6ブロック)